

講演・宮部義幸氏

これからの日本の勝ち筋を考える



【略歴】

大阪府生まれ。
大阪大学大学院工学研究科
修了。1983年松下電器産業株式会
社（現パナソニックホールディング
ス株式会社）入社。代表取締役
専務、副社長執行役員等を歴任。
2023～2025年関西経済同友会
代表幹事。現在、西日本旅客
鉄道株式会社および株式会社
東海理化の社外取締役、大阪
市教育委員 等。

欧州企業モデルの違いは？
日本企業の成功モデルと、

2026 Friday

11.20

16:00-17:15

15:30 開場

内容：講演・質疑応答

会場

広島コンベンションホール 3F

広島市東区二葉の里3丁目5番4号 広テレビビル
広島駅新幹線口（北口）ペDESTリアンデッキから直通 徒歩4分

費用

参加無料

定員

100名

お申込み



セミナー概要

GDP世界2位だった日本の成功モデルと現在の激変した環境を比較し、停滞の構造的要因を掘り下げます。かつて産業革命で先行しながらも米日に追われ、独自の高付加価値化で復活・生き残りを遂げた欧州製造業の歴史は、新興国に追われる今の日本への大きな示唆となります。製造業出身の登壇者の視点から欧州の再浮上も参考にしながら、これからの日本の歩み方を受講者の皆様と共に考える機会とします。

日本停滞の
構造的要因

欧州製造業
の歴史

新興国の
追い上げ

共催 広島大学 デジタルものづくり教育研究センター

内閣府「地方大学・地域産業創生交付金」と広島県の支援を受け、平成30年に設立されました。それ以来、地域の産学官との連携体制を構築するとともにテストベッドを含む研究環境を整備し、モデルベースによる材料研究やデータ駆動型の制御システム、高速カメラシステム、EVシステム等に関する研究プロジェクトの推進及び人材育成に取り組んでいます。



センター長
林 隆一

主催



広島大学
フェニックス協力会
Hiroshima University's Industry-Academia-
Government-Partnership Network

Web
サイト

問合せ

フェニックス協力会Webサイト内

techrd@hiroshima-u.ac.jp

お申込み

QRコードまたは、
クリック

